

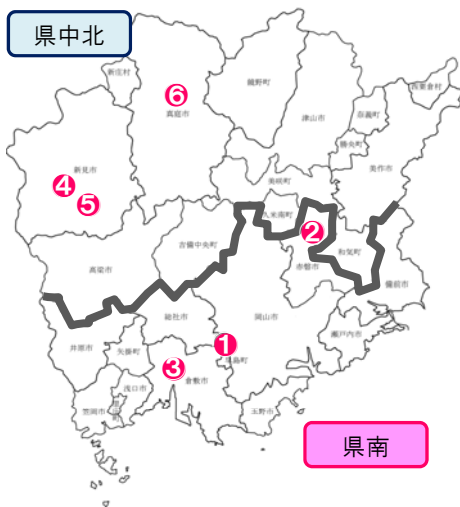


■中間評価

■道路整備の課題

・県南地域は、岡山市・倉敷市などの都市が連担し、それぞれ各地域の商工業の拠点となっており、地域間連絡道路や周辺部から各都市部に至る幹線道路において発生している渋滞の緩和が課題です。また、都市部を中心に高齢者や自転車・歩行者が関わる交通事故が多発しており、効果的な交通安全対策の実施も課題となっています。

・県中北地域は、圏域の中心都市と周辺地域とを結ぶ日常生活を支える道路の整備が求められており、線形不良や幅員狭小などの交通難所の解消が課題です。また、災害時や救急医療のための輸送路を充実・強化する道路整備が求められるとともに、通学路等における歩道整備や高齢者等の交通弱者に配慮した道路整備も求められています。橋梁の耐震化・長寿命化と併せて、安全で安心な道路空間の形成が課題となっています。



【①渋滞発生】
県道 吉備津松島線(倉敷市)



【②事故危険】
国道 484号(赤磐市)



【③橋梁耐震化】
県道 倉敷笠岡線(船穂橋・倉敷市)



【④幅員狭小】
県道 新見川上線(新見市)



【⑤落石危険】
国道 180号(新見市)



【⑥橋梁老朽化】
国道 482号(中戸橋・真庭市)

■整備の目標

・地域の課題解消のため、渋滞対策による経済損失の解消、線形改良等による時間損失の解消、交通事故対策による死傷事故件数の減少、防災・耐震対策による災害時通行安全確保割合の増加を整備目標として事業を推進します。

指標①：県南地域における渋滞対策による経済損失の解消割合

当初現況値 (H21当初)	—	中間目標値 (H23年度末)	5%解消	最終目標値 (H25年度末)	10%解消
---------------	---	----------------	------	----------------	-------

指標②：事故対策による死傷事故件数の減少割合(死傷事故減少率)

当初現況値 (H21当初)	—	中間目標値 (H23年度末)	3%減少	最終目標値 (H25年度末)	5%減少
---------------	---	----------------	------	----------------	------

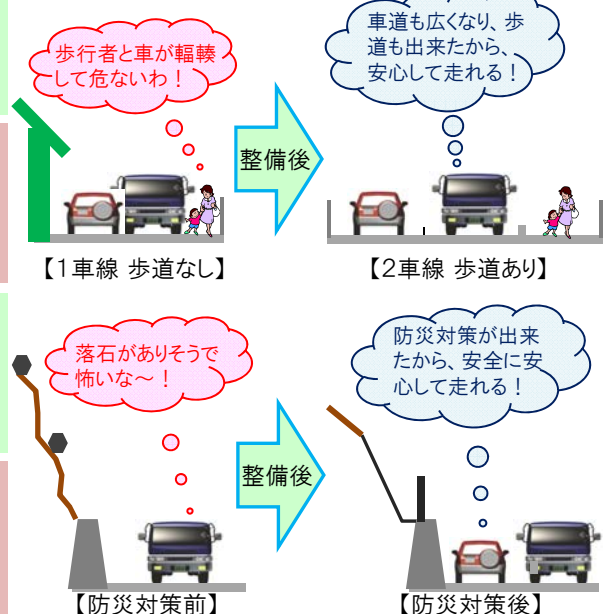
指標③：県中・北地域における線形改良等による時間損失の解消割合

当初現況値 (H21当初)	—	中間目標値 (H23年度末)	5%解消	最終目標値 (H25年度末)	10%解消
---------------	---	----------------	------	----------------	-------

指標④：県中・北地域における災害時通行安全確保割合の増加割合

当初現況値 (H21当初)	—	中間目標値 (H23年度末)	20%確保	最終目標値 (H25年度末)	40%確保
---------------	---	----------------	-------	----------------	-------

■整備イメージ



No.1 おかやま夢づくりプランによる快適生活県おかやまの創出



■対策の実施

・設定した目標達成にむけて、バイパス等の整備や交通安全対策及び防災・震災対策を実施しました。

中間年度(H23年度末)までに供用した代表事業

■バイパス整備■



【道路改築】
国道429号(倉敷市・総社市)

■交通安全対策■



【交通安全】
県道山田榎ヶ原線(玉野市)

■防災対策■



【道路防災】
国道180号(新見市)

■橋梁耐震補強■

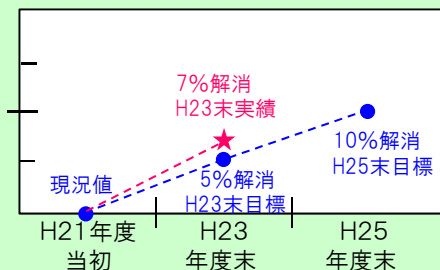


【橋梁耐震化】
県道 津山柳原線(鷺橋:美咲町)

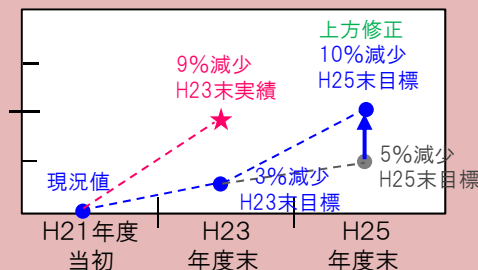
■中間目標の実現状況と今後の方針

・H23年度末時点の評価を行い、今後の方針を検討しました。
・中間目標の達成状況を確認した結果、指標②(死傷事故減少率)は目標を大幅に上回ったことから、最終年度の目標を上方修正し、その他の指標についても進捗状況は順調であり、最終年度における効果発現目標の達成に向け、引き続き事業を推進することとします。

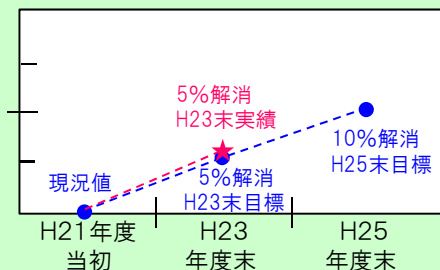
指標①: 県南地域における渋滞対策による経済損失の解消割合



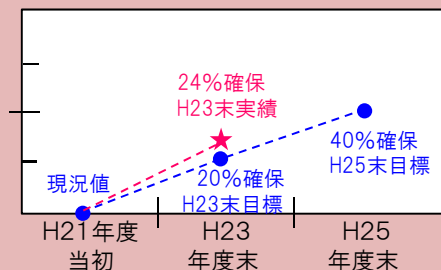
指標②: 事故対策による死傷事故件数の減少割合(死傷事故減少率)



指標③: 県中・北地域における線形改良等による時間損失の解消割合



指標④: 県中・北地域における災害時通行安全確保割合の増加割合



■目標達成のため、引き続き事業を推進します。



【道路改築】

県道 倉敷笠岡線(倉敷市)
倉敷市中心部と笠岡市中心部を結ぶ道路で、県南西部の東西交通を担う重要な道路です。交通渋滞が慢性化している現道の課題解決に向け、引き続きバイパス事業を推進します。



【道路改築】

県道 宇戸谷高梁線(高梁市)
現道は、幅員が狭く、歩道も未整備であるため、大型車のすれ違い困難や、歩行者の安全な通行に支障をきたしています。課題解決に向け、引き続きバイパス事業を推進します。



【道路防災】

県道 落合建部線(真庭市)
本路線は、急峻な山岳地形に位置しているため、落石危険箇所が多数存在しています。安全・安心な通行を確保するため、道路防災事業を推進します。



【橋梁耐震化】

国道486号(新川辺橋:倉敷市)
新川辺橋は、第2次緊急輸送道路に位置する橋梁です。大規模地震発生時の救急活動や物資輸送で重要な役割を果たす路線であり、橋梁の耐震化による、安全安心な道路づくりを推進します。